

自然観察 NOW

No. 78

野幌森林公園自然情報

発行: 2024年 5月 11日

北海道ボランティアレンジャー協議会

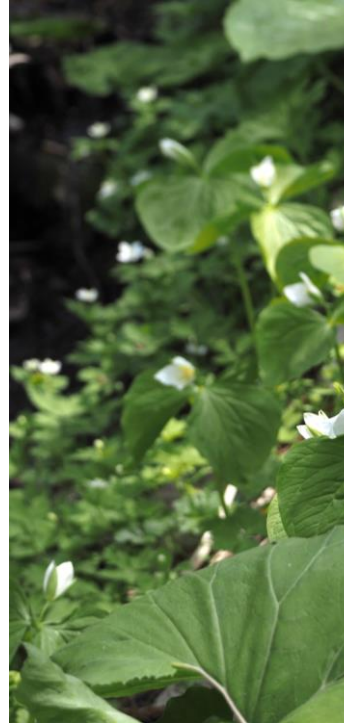
ホームページ <https://voluran.com/>



オオバナノエンレイソウ

雪が解け春ともなればエゾエンゴサク、フクジュソウ、ヒメイチゲなどのスプリングエフェメラル(春の妖精という意味)が次々と咲き誇るのですが、その仲間たちの中でも奥手で開花するのが“オオバナノエンレイソウ”。緑の体に白い花を載せすっきりとした姿は北海道大学の校章や菓子店の包装紙の絵柄として知られています。

北海道では林の中などで見ることができるのですが都市部郊外でも防風林などに残っておりときに大群落を作ることもあります。



ふっくら型↑ スリム型↓



まずはその姿かたちをよく見てみると、白い大きな花弁が3枚、萼が3枚、葉も3枚、このことから属名が *Trillium* (3つのユリ) となった由来です。おしべ(雄蕊)は6本、めしべ(雌蕊)は1本、柱頭は3つに分かれており子房の先端が通常濃紫色でその下に斑点か筋がありますが着色部が見当たらないものもあります。

よく似たミヤマエンレイソウの子房はクリーム色なので大きな区別点ですが、花茎が花の下で強く曲がること、横を向いて咲くこと花弁と萼片が同長などが判断のポイントの1つです。

オオバナノエンレイソウ 特徴的な繁殖方法について

- 日高・十勝地方では同一個体のおしべ・めしべによる“自家受粉”をせず、虫などに他の花の花粉を運んでもらい“他家受粉”で種子を作ります。これを**自家不和合性**といいます。
- 多くは(雌雄)両性株で個体群を構成していますが、個体群によっては雌株と両性株が共存しており**雌性両全性異株性**といいます。
- 繁殖範囲を広げていくために種子に**エライオソーム**というゼリー状の物質をつけてアリに運んでもらって巣の中で育ち、自分たちの個体群を広げていきます。アリの駆除剤の中にはこの性質を利用して、駆除薬剤に好みの物質をつけて巣に運ばせ駆除するというものがあります。

オオバナノエンレイソウの仲間(多くの品種、変種、雑種がある)

○ エンレイソウ ：花卉がなく 萼が緑から濃紫色 トイシノエンレイソウ アオミノエンレイソウ クロミノエンレイソウ アカミノエンレイソウ 下段は品種・変種				
○ ミヤマエンレイソウ ：白い花卉 花は横向き 品種としてエゾミヤマエンレイソウ				
○ チシマエンレイソウ ：オオバナノエンレイソウの変種 子房が濃紫色				
○ ヒダカエンレイソウ ：エンレイソウとミヤマエンレイソウの雑種				
○ コジマエンレイソウ ：エンレイソウとオオバナノエンレイソウの雑種				
○ トカチエンレイソウ ：エンレイソウとオオバナノエンレイソウの雑種				
○ シラオイエンレイソウ ：オオバナノエンレイソウとミヤマエンレイソウの雑種 花卉と葉が波打つ 3倍体と6倍体がある				

参考：絵とき検索表Ⅱ(梅沢俊) 北海道大学理学部生物学科研究トピックス(大原雅) 他

今後の観察会予定

- ・前田森林公園自然観察会 5月26日(日) 10:00～前田森林公園 新川駐車場
- ・森の新緑観察会 6月6日(木) 9:50～自然ふれあい交流館 エゾユズリハ～大沢 周回

文責 藤田 潔